

2017年5月19日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

地域連携

「美濃と飛騨のふくし」連携自治体の職員が講師を担当

地域の課題解決に若い世代の感性を生かす

中部学院大学ならびに同短期大学部では、地域と連携して人材育成を行い、大学が持つ知見などの資源を活用し地域に貢献しています。その一環として開講している地域連携授業「美濃と飛騨のふくし」では、毎回、連携自治体から講師を派遣していただき、講義、ワークショップやフィールドワークを行いながら、本学の学生と各自治体の職員が、既成概念にとらわれない視点で各自治体の魅力や抱えている課題に関して率直な意見を交換します。

今年度前期授業では、山県市、美濃加茂市、郡上市、本巣市、各務原市、美濃市、可児市の職員と学生が多彩な視点で自治体の魅力アップを考えます。また、フィールドワークも行う予定にしています。

記

■ 講義内容

日 時：5月22日（月）15時00分～16時30分

講 師：美濃加茂市職員（こども課長）

テーマ：保育士不足の解消について

日 時：5月29日（月）15時00分～16時30分

講 師：郡上市職員（企画課長、和良おこし協議会事務局長）

テーマ：移住者がもたらす集落づくりへの新たな光

日 時：6月19日（月）15時00分～16時30分

講 師：本巣市職員（企画財政課長補佐、地域おこし協力隊）

テーマ：田舎暮らし体験施設「couch」の整備と活用について

日 時：6月26日（月）15時00分～16時30分
講 師：各務原市職員（まちづくり推進課長補佐、広報課主任主事、
企画政策課主任主事）
テーマ：各務原市のシティプロモーションについて

日 時：7月10日（月）15時00分～16時30分
講 師：美濃市職員（美濃市教育委員会教育総務課長）
テーマ：美濃市に戻ってくるための奨学金制度について

日 時：7月24日（月）15時00分～16時30分
講 師：可児市職員（都市計画課長）
テーマ：木曽川がつなぐ育む、可児かわまちづくり

■ 講義会場 中部学院大学 関キャンパス 2108 教室
（岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 2号館1F）

■ 特別講義 フィールドワーク
日 時：7月8日（土）9時00分～16時00分
場 所：田舎暮らし体験施設「couch」
（本巣市外山1351番地1）

■ 受講生 中部学院大学・同大学短期大学部 学生 約50名

以上

（本件に関するお問い合わせ先）
中部学院大学 教育研究支援部 研究支援課 担当：楊・浅野・櫻川
TEL:0575-46-7158（関キャンパス） Mail : cocplus@chubu-gu.ac.jp